

【公開授業見学のご報告】（茨城県かすみがうら市）

2015年11月中旬、茨城県かすみがうら市内の中学校で実施されたライオンズクエストプログラムの公開授業にお邪魔しました。

各学年1クラスずつの授業公開があり、その後、校長先生や授業者の先生方にお話を伺うことができる懇談の時間がありました。

こちらの中学校は、2014年4月に2つの学校が統合してできた中学校です。2015年3月に校内型ワークショップを実施し、17名の先生方が修了されています。

校長先生のお話では、合併前に教育長からの紹介でプログラムを知り、1名の教師を2013年4月東京で開催されるワークショップに派遣したところ、とてもよい感触だったとのこと。“教師は教え方の引き出しをたくさん持っていた方がいい”との思いで、2013年11月のライオンズクエスト体験セミナーを経て、統合後の2015年3月、校内型ワークショップを実施するに至りました。

2015年4月以降、プログラムの実施はクラスごとの導入で学級担任の裁量に任されているようですが、年35時間の学級活動のうち3分の1の時間を使ってプログラムを実施することを目指しているそうです。

この日公開された授業は、次の3つです。

● 1年生 上手な話の聞き方、応答の仕方（思春期版：単元2 授業5）

このクラスは、10月～12月までの3ヶ月間で5時間の授業実施を予定しており、公開授業時は2時間目にあたる授業でした。

3人1組で「話し手」「聞き手」「観察係」の役割を交代しながらする「上手な話の聞き方」の練習部分を見学しました。どのグループも「聞き上手チェックポイント」にしたがって、ときには大げさなくらいのリアクションで「話し手」の話を上手に聞き、楽しそうに活動していました。



● **2年生 自己主張する**（思春期版：単元4 授業7）

このクラスは、4月からの1年間で9時間の授業実施を予定しており、公開授業時は7時間目にあたる授業でした。

好ましくないプレッシャーに対して自己表現してはっきり「ノー」と言う、そのやり方を練習していました。実に様々な状況の「よくない誘い」に対して、生徒たちが自分の言葉で「ノー」と答えていました。グループ活動では、一人一人の発言の機会が各段に増えることを実感しました。

● **3年生 立ち向かうためには：努力、困難を乗り越える、再スタート**（思春期版：単元7 授業6）

このクラスも、4月からの1年間で9時間の授業実施を予定しており、公開授業時は7時間目にあたる授業でした。

生徒たちも、導入(エネジャイザー)→説明→練習 という流れに慣れており、スムーズに授業が展開していました。困難な状況下において「考え方」を前向きに変えることにより「行動」が変わり、そこから発生する「感情」もまた変化する、という一連の流れを学ぶことは、見学者の間からもささやきが漏れる程、大人にとっても必要なことなのかもしれません。

どのクラスにも見学者が多く、生徒たち(そして先生方)は少し緊張していたかもしれませんが、発言も多く活動的なライオンズクエストの授業が行われている教室には、窓から差し込む陽ざしのせいばかりではなく、明るい雰囲気を感じました。

校長先生や授業をなさった先生方との懇談では、以下のご意見を伺いました。

- ・ライオンズクエストを、特別活動の時間や国語の時間(ディベート・話し合いをどうやって進めていったらいいか)などに活用している。
- ・生徒たちはゲーム感覚でライフスキルを身につけることができる。
- ・体系的でやる内容が明確である。
- ・今後も学力向上や人間関係づくりに役立てていきたい。
- ・授業に導入してから、生徒たちが明るく前向きになった。
- ・実施した授業がすぐに活かされていると感じる。

今後、ワークショップ未受講の先生方を対象とした2度目の校内型ワークショップも予定され、ぜひ今後は「クラスごと」の実施から、「学年ごと」・「学校全体」での実施へと広がっていくことを願っております。

最後に、公開授業をご計画して下さった先生方・学校関係者の皆様、お声掛けくださったライオンズクラブの皆様にご心より御礼申し上げます。

JIYD 杉崎